

4. 将来像、基本方針

4-1 将来像

名取市第六次長期総合計画や名取市都市計画マスタープラン等の本市の上位・関連計画とともに、自転車利活用に関する課題を踏まえて、本市が目指す自転車を活用したまちづくりの将来像を設定します。

上位計画等の方向性

第六次長期総合計画まちづくりの基本理念

- ・多様な主体による市民本位のまちづくりを進めます
- ・地域の特性と魅力を最大限引き出します
- ・時代の変化に対応した持続的な発展を目指します

都市計画マスタープランの都市づくりの基本目標

- ・健康で楽しい暮らし
- ・快適で安全な生活基盤の確保
- ・都市の成長を牽引する産業の振興
- ・にぎわいと国際化を生み出す交流促進
- ・循環と再生利用による環境都市の創出

自転車利活用に関する課題

課題1 観光分野の視点

市内全域での自転車周遊／自転車を活用した観光ニーズの掘り起こしや受け入れ対応／自転車による観光消費の拡大

課題2 健康・環境分野の視点

自動車から自転車への利用転換／健康増進へ繋がる取組/サイクルスポーツ等の普及・浸透

課題3 安全・安心分野の視点

一層の自転車ルール・マナー徹底への対応／周知・啓発の取組／災害時における移動手段としての自転車活用

課題4 ハード整備分野の視点

自転車ネットワークの未整備区間の対応／市内地区間を結ぶ自転車交通の環境整備

・自転車の利用者が増える

・自転車の利用機会が増える

自転車利用の浸透

本市の自転車を活用したまちづくりの将来像

～サイクリストにやさしいまちを 未来へつなぐ～

サイクリストの定義は、観光などの来訪者に留まらず、日常的に自転車に親しむ市民全てです。

サイクリストがまちに溢れ、活力に湧く都市へ、そして、自転車で人々がつながるふるさとなりに、市民の「愛着と誇り」を醸成し、未来へ受け継ぎます。

4-2 基本目標に基づく施策

1 観光分野の目標: サイクルツーリズムで繋ぐ、引き込む、楽しむまち

東北唯一のサイクルスポーツセンターを拠点としたサイクリングルートとその沿線の観光資源や景観などの魅力を最大限に生かし、インバウンドを捉えたサイクルツーリズムを展開します。

また、名取市サイクルスポーツセンターと名取トレイルセンターを生かした「人力で旅する文化」の醸成を図ります。

- 1-1 自然・観光資源を生かしたルートの周遊の促進
- 1-2 サイクリストの周遊をサポートするサービスの提供
- 1-3 広域連携による取組の推進
- 1-4 「人力で旅する文化」の醸成・情報発信
- 1-5 ユニバーサルデザイン・おもてなしの充実

		令和4年度	令和9年度	令和12年度
K P I 指標	① ツアー・イベント累計参加者数（人）			
	② サイクルラック（サイクルステーション）設置数（件）			

《選定理由》

- ① サイクルツーリズムに関連した観光客数の増加を図るため、サイクルイベント等の参加者数を設定。
- ② サイクルラックの設置により市内回遊の利便性の向上を目指すため、設置個数を設定。

2 健康・環境分野の目標: 自転車で健康増進、ゼロカーボンによる持続可能なまち

自転車を利用する機会を増やすために、自転車利用による健康増進や環境負荷低減等のメリットや自転車の魅力を発信することで、日常生活での過度な自動車利用から自転車への転換を図ります。また、誰もが自転車に親しみ、楽しめる機会の創出に取り組めます。

- 2-1 気軽な自転車利用の推進
- 2-2 日常生活での自転車利用機会の創出
- 2-3 サイクルイベントの開催、誘致
- 2-4 サイクルスポーツの振興
- 2-5 障がい者のサイクリング等の活動支援

		令和4年度	令和9年度	令和12年度
K P I 指標	① 名取サイクルスポーツセンターにおける自転車利用者数			
	② 自転車通勤推進企業数（事業所）			

《選定理由》

- ① サイクルスポーツ・サイクリングによる健康増進を図るため、名取市サイクルスポーツセンターにおける自転車利用者数を設定。
- ② 日常生活の自転車利用による環境負荷低減を図るため、市内の自転車通勤推進企業数を設定。

3安全・安心分野の目標:一人一人が自転車のルール・マナーを守る安全で安心のまち

サイクリストへのルール・マナーの普及、啓発に取り組み、市全体で自転車を利用しやすい環境づくりに取り組めます。

市民や地域、関係団体・機関と連携し、安心して自転車を利用できる地域づくりに取り組めます。

- 3-1 自転車利用ルール・マナーの普及・啓発
- 3-2 安全・安心な自転車利用の支援
- 3-3 避難手段、支援物資運搬等としての活用検討

		令和4年度	令和9年度	令和12年度
K P I 指標	①自転車関連事故件数（件）			
	②各種安全教室の開催件数（件）			

《選定理由》

- ①安全で安心に自転車を利用できるまちづくりを目指すため、自転車関連事故件数を設定。
- ②ルール・マナーの普及・啓発により安心して自転車を利用できる地域づくりを図るため、各種安全教室の開催件数を設定。

4ハード整備分野の目標:自転車で市内全域を快適に移動できるまち

自転車ネットワーク路線の整備を推進し、安全・快適な走行環境の維持に努めます。

鉄道駅や商業施設へのシェアサイクルの導入を検討し、公共交通機関と自転車の連携を図ります。

- 4-1 安心して走行できる環境の確保
- 4-2 安全・快適な自転車走行環境の維持管理
- 4-3 自転車ネットワークの拡充
- 4-4 利便性の高い公共交通の構築に向けた自転車者環境整備

		令和4年度	令和9年度	令和12年度
K P I 指標	①ネットワーク路線の整備延長（m）			
	《選定理由》			

- ①安全・快適に走行できる環境の向上を目指すため、ネットワーク路線の整備延長を設定。

なお、各事業の実施時期は短期(R6～7年)、中期(R8～9年)、長期(R10～12年)とします。

5. 施策の展開

5-1 観光分野の施策

施策 1-1 自然・観光資源を生かしたルートの周遊の促進

事業1-1-① 周遊ルートの魅力のPR・ツアーの企画

■ 情報発信プラットフォームに情報を集約し、サイクルツーリズム推進のまちをPR

海と山に囲まれた地域の特性を活かした観光サイクリングルートの充実を図ります。また、なとりサイクルマップと併せて沿線の観光資源「食」、「歴史」、また「震災伝承」などのコンテンツを、季節による景観や開催イベントの情報と合わせ、随時発信・配信し、PRします。

■ ツアー・イベントの実施

名取市サイクルスポーツセンターを拠点に、各ルートの特性に応じたツアーの企画や、周遊イベントを開催します。またツアー等の実施に合わせてスタンプラリーの充実や、参加者へのデジタル地域通貨の付与なども検討します。

※1 地域通貨とは、特定の地域やコミュニティなどで使用できるデジタル通貨です。

取組

・なとりサイクルラリー

本市では、勸請 900 年を迎える熊野三社を巡り、その歴史に触れながらサイクリングを楽しめるイベントを開催した。アプリの GPS 機能でチェックインしてスタンプを集めるイベントで、同時に Instagram でフォトキャンペーンも開催した。



出典：名取市 HP

・なとりサイクルマップ

市内を周遊し、おすすめ立ち寄りスポットや絶好の写真撮影スポットも掲載しているサイクルマップを作成している。マップ内のコースは、難易度別にコースは全部で 4 コースある。



出典：名取市 HP

概要

短期

中期

長期

実施時期

随時実施

事業1-1-②

シェアサイクル・サイクルバスの導入による周遊の促進

概要

- 市内の周遊の拠点における自転車のシェア
市内の拠点施設であるサイクルスポーツセンターや名取駅にあるレンタサイクルをシェア化し、市内各地点での乗降を検証・検討します。
シェア化に合わせて、西側丘陵地へのアクセスもしやすい e-bike や、ロード・クロスバイクなど車種の充実も検討します。
- サイクルバスの導入
市内のバス事業者と協調し、サイクルバス導入により、市内回遊の利便性の向上を検証・検討します。

※ 事業 4-4-1 との連携事業

事例

・ 関東鉄道における「サイクルバス」の取組

関東鉄道(茨城県)では、ナショナルサイクルルート沿線で、サイクリストの移動利便性向上に寄与するサイクルバスを運行。サイクリング目的の観光客だけでなく、買い物や通院等日常利用もターゲットにしており、追加料金・予約不要で、自転車は最大 2 台までバス内に載せることができる。固定ベルト、サイクルラックを設置し、車イス利用がない場合に限り、固定して利用することができる。



▲サイクルバス、サイクルバス車内の様子

出典：国土交通省 サイクルトレイン・サイクルバス導入の手引き～国内外の参考事例集～ 令和4年度版

	短期	中期	長期
実施時期	調査・検討		実証・実施

事業 1-1-③

観光沿線ルートなどの良好な景観形成

■ 観光沿線ルートなどの良好な景観形成

インバウンドを含む観光客への魅力となる景観について、住民や企業との官民連携により、沿道や遊休地などを活用し、西部丘陵地からの眺望や観光沿線ルートの美しい景観形成に向けた取組を検討します。

事例

・ 景観作物栽培事業（レンゲ栽培）

茨木市では、地域の景観形成に寄与する目的で、レンゲ米を栽培している農地の横で、レンゲを栽培し、開花させた農業者への支援を実施した。

景観作物活用事業を活用してレンゲ米栽培を行っている水田に隣接する遊休農地等において、レンゲ栽培を実行組合単位で栽培面積 5 アール以上、1 筆あたりの栽培面積 1 アール以上であれば、450 円/a を支援している。



▲レンゲ栽培風景

出典：茨木市 HP

概要

取組

・ 花いっぱい運動

本市では、道路や公園などの公共エリアに、花の苗等を植えることで、公共のスペースを花いっぱいの状態にして、ごみの不法投棄等の放置を防ぎ、「清潔で潤いのある良好な空間」「美しいふるさと」の創出を目指すことを目的に、「花いっぱい運動」を実施している。町内会や子ども会等を対象に助成金を交付している。



▲活動風景

出典：名取市資料

	短期	中期	長期
実施時期	調査・検討		実施

施策1-2 サイクリストの周遊をサポートするサービスの提供

事業 1-2-①	サイクルラック・サイクルステーションの設置		
概要	<p>■ サイクルラック・サイクルステーションの設置</p> <p>市内各地域に設置を進めているサイクルラックの数を更に増やし、またサイクリストが休憩し、工具など使用できるサイクルステーションについて、周遊の利便性向上のため、官民連携による設置を検討します。協力店については、マップで確認できるよう情報発信も行います。</p> <p>※サイクルステーションとは、トイレ、空気入れ、水分補給設備、休憩スペース、サイクルラック、情報提供(ルートマップなど)の機能を備えたサイクリストの休憩施設です。</p>		
	<p>取組</p> <p style="text-align: center;">・ 仙台空港サイクリングポート</p> <p>仙台空港を拠点にサイクリングを快適に楽しむためのサイクルツーリストサポート施設として整備されている。</p> <p>自転車の組立や解体・整備に必要な工具の貸出（無料）、輸行箱を保管できる大型専用ロッカー（有料）を完備している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="403 1093 879 1451">  </div> <div data-bbox="895 1093 1390 1451">  </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> ▲サイクリングポート ▲ロッカー（荷物用、輸行箱専用） </p> <p style="text-align: right;">出展：仙台空港 HP</p>		
実施時期	短期	中期	長期
			

施策1-3 広域連携による取組の推進

事業 1-3-①	「震災復興・伝承みやぎルート」へのサイクリスト誘致		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ サイクルツーリズムのシンボルロードのPR ルート全線のゲートウェイ機能である仙台空港、サイクリストに「優しい宿」として整備されたサイクルスポーツセンター「りんりんの宿」、「震災復興伝承館」など伝承施設を繋ぎ各市町にまたがるシンボルロードとして、国内外のサイクリスト誘致の情報を発進します。 ■ 広域連携によるイベントの誘致・開催 県、沿線ルートの市町、団体と連携し広域的な活性化を図るイベントを誘致、開催します。 ■ 広域からのサイクリストの市内周遊促進 市域外から訪問したサイクリストが、各観光スポットなどを周遊する自由度が上がるような市域内外のルートの案内や、案内看板などの整備を検討します。 		
	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">コラム</p> <p style="text-align: center;">・震災復興・伝承みやぎルート</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>震災復興・伝承みやぎルートは、県沿岸部を南北に縦断し、沿岸地域における漁業・海産物等の魅力を生かしつつ、東日本大震災の遺構や伝承施設等を巡るルートである。</p> <p>サイクルツーリズムを推進し、国内外からサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光による地域の活性化を目指すことを目的として、宮城サイクルツーリズム推進協議会を平成31年に設置し、活動を実施している。</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p style="text-align: center;">全長約280km</p> <p style="text-align: center;">【広域図】</p> <p style="text-align: right;">凡例 基幹ルート ゲートウェイ サイクルステーション 主な震災遺構 ※サイクルステーション、ゲートウェイは主な候補箇所</p> <p style="text-align: right;">出典：国土交通省 HP</p> </div> </div> </div>		
実施時期	短期	中期	長期
<div style="border: 1px solid gray; background-color: #cccccc; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%; margin: auto;"> 随時実施 </div>			

事業 1-3-②

公共交通等による広域周遊との連携

- **自家用車・バス等と組み合わせた周遊ツアーの造成**
 ルート沿線における特色のある風景や施設をスポット抽出した走行及び長距離走行の負担を軽くするため、交通機関と連携したツアーの造成などを検討します。
- **レンタサイクルの利用の拡充**
 レンタサイクルの複数日の貸出し等、利用者の希望による対応を可能とし、広域周遊の拡大を検討します。

参考



出典：国際興業トラベル「サイクリングバスツアーとは」

概要

事例

・周遊プログラム「伊豆の国まるごと」ARナビ

鉄道、周遊バス、貸切バス、タクシーと連携した周遊プログラム「伊豆の国まるごと AR ナビ」を公開中。多様な交通モードと連携した取組を推進。自転車は、気軽に市内を周遊できるようシェアサイクルを市内 10 カ所に設置、伊豆長岡温泉宿泊者に向け、市内外への周遊に適したE-Bike(スポーツバイクに電動アシストユニットを取付した自転車)の貸出しを実施。

周遊プログラム「伊豆の国まるごと」
- 伊豆の国まるごとARナビ -




▲伊豆の国まるごと ARナビ

出典：伊豆長岡温泉ミライ会議

	短期	中期	長期
実施時期	調査・検討		実証・実施

施策1-4 「人力で旅する文化」の醸成・情報発信

事業1-4-①	「人力で旅する文化」の醸成		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人力で楽しむ観光コンテンツの造成 サイクルスポーツセンターや名取トレイルセンターを拠点に、サイクリングを始め、トレッキング、カヌー等の人力で楽しむコンテンツの創出や、キャンプ等野外イベントを開催します。 ■ 複合型アクティビティの創出 自転車で山地や沿岸へ移動し、移動先での自然を活かしたトレッキングやサップ体験など、複合型のアクティビティの創出を検討します。アクティビティのスポットには自転車を安心して駐輪できる場所を確保します。 ■ 「人力で旅する文化」の情報発信 サイクルスポーツセンターと名取トレイルセンターを活用した人力の旅のブランド化を意識した情報を、情報発信プラットフォームに集約し国内外に発信します。 		
	<p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・名寄市における「カヌーサイクリング」の取組</p> <p>名寄市では、日本第4位の長大河、天塩川の名寄市流域を、自転車とカヌーで巡る半日のアクティビティ・カヌーサイクリングを実施している。サイクリングの終点からカヌーを開始し(自転車は送迎車が回収)、地元カヌーガイドが付き添い、初心者でも楽しむことができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">▲カヌーサイクリングの様子</p> <p style="text-align: right;">出典：NPO 法人 なよろ観光まちづくり協会</p>		
実施時期	短期	中期	長期
<div style="border: 2px solid black; background-color: #ccc; padding: 10px; display: inline-block; margin: 0 auto; width: 80%;"> 随時実施 </div>			

事業 1-4-②

市民意識の醸成によるトレイル文化の浸透

■ **トレイル文化の浸透**

官民連携のシンポジウムやウォークイベントを開催し、「みちのく潮風トレイル」に親しみ、またトレイル憲章の市民への浸透も図ります。

■ **まちぐるみでのトレイルの支援**

トレイルのサポーターのボランティアやハイカーを支援する店舗などを募ります。

概要

コラム

・「みちのく潮風トレイル」

東日本大震災からの復興を目指す取組として、青森県八戸市と福島県相馬市までの沿岸部を結ぶ全長約1000キロの遊歩道「みちのく潮風トレイル」を環境省が整備を進め、2019年に全線開通している。

名取市内にある「名取トレイルセンター」は、みちのく潮風トレイルを歩く上で必要な情報や、「ロングトレイル」と「歩く文化」を発信する施設である。また、トレイルを歩くハイカーや地域住民、観光で来館された方々がくつろぎ、交流できる空間を提供している。

出典：みちのく潮風トレイル

短期


中期



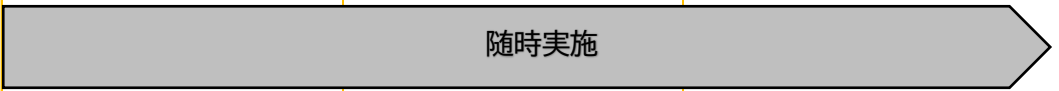
長期

実施時期

随時実施

施策1-5 ユニバーサルデザイン・おもてなしの充実

<p>事業 1-5-①</p>	<p>ユニバーサルデザインによる環境づくり</p>		
<p>概要</p>	<p>■ ユニバーサルデザインの推進 インバウンド観光客へ向けルート沿線の看板・施設などの多言語表示、発信する情報の多言語化など、ユニバーサルデザインに取り組みます。また、情報発信にあたっては、デジタル媒体を最大限活用します。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語に対応した情報提供 京都市では、自転車観光の魅力を発信するとともに、外国人観光客をはじめとした観光客向けに、観光客向けの自転車ルール・マナー啓発動画、リーフレット及びWEB サイト記事を多言語で制作している。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>▲リーフレット（英語版） 出典：京都市HP</p> </div> </div>		
	<p>実施時期</p>	<p>短期</p>	<p>中期</p>
<p>調査・検討</p>		<p>実施</p>	

事業 1-5-②	おもてなしの充実		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 官民連携によるサイクリストに優しいまちづくり 観光ルート沿いの飲食店等に協力を呼びかけ、サイクルステーションの設置を推進し、さらに歓迎の看板の設置や官民連携のイベント実施などを検討します。 ※ 事業1-2-1との関連事業 ■ 観光ボランティアなどの配置 自転車の伴走による観光スポット案内・説明から、日本の文化やマナー、また交通ルールなども知る機会を作るためのボランティアやガイド・通訳の配置などを検討します。また「などライダー」(仮称)など名称を付し、存在感をPRします。 ■ Wi-Fi環境の整備 店舗などにおける無料 Wi-Fi の環境整備を市補助金により支援し、サイクリストの情報取得の円滑化を図ります。 		
	<p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・サイクリストのためのおもてなしスポットの取組</p> <p>広島県では、サイクリストをあたたく迎える施設・店舗「ひろしまサイクルおもてなしスポット」を募集し、広島県公式観光サイト「ひろしま観光ナビ」において、登録施設・店舗を紹介している。店舗では、飲食店食品販売、宿泊、サイクルスタンド、空気入れ貸出、修理工具貸出、駐輪スペースの提供、飲料の提供等を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>基本サービス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オプションサービス (フルサービス版)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">▲ひろしまサイクルおもてなしスポット登録証</p> <p style="text-align: right;">出典：広島県 HP、(一社) 広島県観光連盟 HP</p>		
実施時期	短期	中期	長期
 <p>随時実施</p>			

施策 2-1 気軽な自転車利用の推進

<p>事業 2-1-①</p>	<p>市内就業者に対するエコ通勤の啓発や事業者に対する自転車通勤導入の促進</p>		
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内就業者に対するエコ通勤の啓発 市内就業者へ自転車の気軽な利用や自転車通勤への転換を図るため、エコ通勤によるメリット(環境負荷低減、健康増進など)の情報発信や、リーフレット配布などによる自転車利用促進のための啓発活動を実施します。 ■ 市内事業者への「自転車通勤推進企業」宣言の支援 市内事業者へ「自転車通勤推進企業」宣言の周知を行い、市内事業所と連携を図りながら、宣言企業、優良企業の認定を支援します。 ■ 名取市役所の「自転車通勤推進企業」宣言の企業認定 市内の事業者に先行して、名取市役所における宣言企業の認定を目指します。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・自転車通勤導入に関する手引き</p> <p>平成 30 年 6 月に閣議決定された自転車活用推進計画に基づき、国土交通省では、事業者における自転車通勤や業務利用拡大のための手引きを作成。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>自転車通勤導入に関する手引き</p>  <p>令和元年5月 自転車活用推進官民連携協議会</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>優良企業認定ロゴマーク</p>  <p>宣言企業認定ロゴマーク</p>  </div> </div> <p>▲「自転車通勤導入に関する手引き」 ▲「自転車通勤推進企業宣言プロジェクトの認定ロゴマーク」</p> <p style="text-align: right;">出典：自転車活用推進官民連携協議会</p> </div>		
<p>実施時期</p>	<p>短期</p> <p style="text-align: center;">市による宣言企業認定 ロゴマーク取得活動</p>	<p>中期</p>	<p>長期</p> <p style="text-align: center;">企業への周知・取得支援</p>

事業 2-1-②

自転車利用へのデジタル地域通貨の付与

■ 自転車利用へのデジタル地域通貨の付与

健康増進や環境負荷低減を意識した日常的な自転車利用を促進するため、自転車利用についてデジタル地域通貨を付与する仕組みを検討します。

事例

・高萩市における「健康マイレージ」の取組

茨城県高萩市では、自主的で積極的な健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、「健康マイレージ」を実施している。

健康診査やがん検診を受けたり、健康に関するイベントへの参加、自主的に取り組んでいる健康づくり活動にポイントが付与される。参加者は、景品がもらえたり、ポイントをためて豪華景品の抽選に応募することができる。




▲ 公告チラシ

出典：茨城県 HP、高萩市 HP

概要

	短期	中期	長期
実施時期	調査・検討		実証・実施

施策 2-2 日常生活での自転車利用機会の創出

事業 2-2-①	自転車に触れる機会の創出		
概要	<p>■ 自転車の販売会・試乗会等の実施 サイクルスポーツセンターなどで自転車メーカーなどの協力による、通勤用自転車や、子ども乗せ自転車、ロードバイク、e-bike など最新モデルの展示会・試乗会や放置自転車のリサイクル等による販売会を通じて、自転車の利点を深めてもらい、一人ひとりのライフスタイルに合った自転車を知るきっかけづくりを行います。</p> <p>■ 自転車利用による健康増進や環境負荷低減の情報発信 自転車利用による健康増進や環境負荷低減への啓発を図るため、自転車の魅力や自転車を活用した健康づくり、環境負荷低減への貢献に関する情報を情報発信プラットフォーム等で積極的に発信します。</p> <div data-bbox="422 862 1444 1635" style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・ 放置自転車のリサイクル販売の事例</p> <p>府中市では、保管期間を過ぎた放置自転車を再生修理し、輪業組合の協力を得て、安全なリサイクル自転車の販売を、市内の自転車販売店 9 店舗で実施している。</p> <p>リサイクル自転車の販売価格は、6,000 円程度からで、リサイクルシールを貼ることになっている。</p> <div data-bbox="922 1102 1406 1462" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">▲ リサイクルシール</p> <p style="text-align: right;">出典：府中市 HP</p> </div>		
	実施時期	短期	中期
	<div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; padding: 5px; display: inline-block; width: 100%;"> 随時実施 </div>		

事業 2-2-②

自転車購入等補助金制度の検討

概要

- 自転車購入等補助金制度の検討
子育て世帯等に対する自転車購入補助金制度など、所有の支援について検討します。
「自転車通勤推進企業」宣言を目指す事業者に対し、従業員用駐輪場の確保に関わる補助支援等を検討します。

事例

・葛飾区における「三人乗り自転車等購入費助成事業」

葛飾区では、子育て家庭の経済的負担を軽減し、保育園や幼稚園への送迎、外出時の安全性を高めるために新たに購入する際の費用の一部を助成。購入する自転車には、安全基準を満たす「幼児2人同乗基準適合車マーク」と一般社団法人自転車協会が定める自転車安全基準「BAA マーク」が両方ついている製品基準を設定している。

三人乗り自転車(幼児2人同乗用自転車)や関係物品の購入費助成を行います



三人乗り自転車

子育て家庭の経済的負担を軽減し、保育園や幼稚園への送り迎えや、外出時の安全性を高めるため、対象となる自転車や関係物品を新たに購入する方に購入費用の一部を助成します。

出典：葛飾区 HP

	短期	中期	長期
実施時期	調査・検討		実施

施策 2-3 サイクルイベントの開催、誘致

事業 2-3-①

誰もが楽しめるサイクルイベントの開催・誘致

■ 誰もが楽しめるサイクルイベントの開催・誘致

市民がサイクルスポーツを見て、参加して、楽しめる機会を創出し、様々なサイクルスポーツを身近に感じることができるよう、誰もが楽しめる幅広い視点から検討したサイクルイベントの開催、誘致を図ります。

取組

・げんき NATORI ママチャリ 4 時間耐久レース in ゆりあげ

「げんき NATORI ママチャリ 4 時間耐久レース in ゆりあげ」は、一般市販のホームサイクル、いわゆるママチャリを使用する自転車レースで、1 チーム最大 6 名の登録ライダーが交代しながら 1 台の自転車を乗り継ぎ、4 時間の完走を目指すもの。

上位や記録更新に挑戦したい、とにかく完走したい、仮装やデコチャリを楽しみたい等々、各々のチームに合わせた目標を持って、誰もが気軽に参加出来る大会となっている。



出典：ママチャリ耐久レース実行委員会 HP

取組

・宮城県サイクリング協会センチュリーライド

宮城県サイクリング協会は、名取市サイクルスポーツセンターを発着点として、センチュリーライドを開催している。センチュリーライドとは 100 マイル(160 km) を、参加者が地図を読み自己の責任で走るサイクリング大会であり、ジュニアからシニアまで、幅広い年齢層の愛好者がいる。



出典：宮城県サイクリング協会 HP

概要

短期

中期

長期

実施時期

継続実施

事業 2-3-② 各種サイクリスポートの実施の検討

■ 各種サイクリスポートの実施の検討
 サイクリスポートは、ロードレース、マウンテンバイク、BMX など自転車の種類や、実施する環境に応じて様々であり、多様な世代での人気が高まっていることから、サイクリスポートを促進するため、西側山間部やサイクリスポートセンターを活用した競技の実施を検討します。

<実施例>

イベント仮称	開催場所	内容
A:潮風サイクルフェスタ	名取市を含む沿岸部市町	サイクリスポートセンターを拠点として、海岸部の市道閑上南北線、県道相馬亘理線(38号)等を利用して、海辺の景色を楽しみながら走行するサイクルイベント
B:ツールドなとり	名取市、村田町など	サイクリスポートセンターを拠点として、西側山間部を周遊するイベントで、ポイントごとに市内の特産品などを食べながら走行するイベント
C:なとりマウンテンバイクカップ	名取市高館地区など	山間部の悪路をマウンテンバイクで走行するイベント
D:なとりBMXカップ	サイクリスポートセンター	サイクリスポートセンターのスケートボードパーク施設を活用したイベント

概要



実施時期	短期	中期	長期
	調査・研究		実施

施策2-4 サイクルスポーツの振興

事業 2-4-①	サイクルスポーツ団体等への支援		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車競技者の育成支援 総合型地域スポーツクラブや関連団体、学校機関と連携し、サイクルスポーツへの取組、競技者の育成を支援します。 サイクルスポーツセンターを活用し、高校、大学、実業団チームなどの自転車合宿の誘致に取り組みます。 ■ 自転車クラブ創設に関する情報発信 サイクルスポーツの裾野を拡げるため、市民の自転車愛好会等の自転車クラブの創設について、市の情報発信ツールにより情報提供の支援をします。 自転車クラブはサイクルイベントの参加や支援、自転車講習会の協力など、地域活動の担い手への展開も目指します。 		
	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・石岡市民サイクリングクラブの設立</p> <p>市民サイクリングクラブを設立し、ポタリングという楽しみ方やサイクリングコースの提案・試走を行っている。</p> <p>また、サイクリングを行うだけではなく、自転車を安全・安心に乗るためのルールやマナーの普及啓発、自転車イベント等の情報発信などの取組を行っている。 出典：石岡市 HP</p> <div style="text-align: right;">  <p>▲石岡市民サイクリングクラブの様子</p> </div> </div>		
実施時期	短期	中期	長期
			

施策 2-5 障がい者のサイクリング等の活動支援

事業 2-5-①	障がい者がサイクリング・サイクルスポーツに触れる機会の創出		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車利用の支援 障がい者の関連団体と連携して、障がいに対応した自転車利用の講習会の開催、自転車利用を支援する人材育成などを検討します。 ■ ツーリングなどイベントの開催 障がい者の関連団体と連携して、障がい者対応の自転車を活用したイベントを開催するなど、サイクリングやサイクルスポーツの活動を支援します。 		
	<p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・ハンドバイクイベント</p> <p>令和3年名取市サイクルスポーツセンターで、ハンドバイクによる体験会や記録会などを通じ、ハンドバイクの魅力の発信、参加者の交流を目的とし「ハンドバイク大会 in みやぎ」が開催された。</p> <p>※ハンドバイクとは「手を使って進む」自転車です。足でペダルをこぐことが困難でも楽しむことができる。</p> <div data-bbox="766 851 1388 1691" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">ハンドバイク大会 in みやぎ HAND BIKE RALLY in MIYAGI</p>  <p>9月25日(土) 体験会、記録会 体験会や記録会ツーリングにも機材を貸し出します。記録会は自転車でも参加できます。</p> <p>9月26日(日) ツーリング (16~60km) 主にサイクリングロード走行する初心者コース、休憩はゆりあげかわまちテラスです。上級者は往復60kmの松島までのコースを用意しています。同行する自転車の参加も大歓迎です。</p> <p>参加費： 両日¥5000 (入場バス、保険、記念Tシャツ、25日エイド付、26日走行サポート) 25日¥3000 (入場バス、保険、記念Tシャツ、25日エイド付) 25日体験や見学のみ¥2000 (入場バス、保険、記念Tシャツ、エイド付) 26日¥3000 (保険、記念品、走行サポート付)</p>   <p><small>主催：東北ハンドバイク協会 主幹：ハンドバイク大会inみやぎ実行委員会 協力：(一社)宮城県障害者スポーツ協会、緑輪舎 協賛：住友ゴム工業(株)、(株)佐々匠、(有)佐々木酒造店、(有)大沼プランニング(株) テレウス、(有)車産</small></p> </div>		
実施時期	短期	中期	長期
	調査・研究		実施

施策 3-1 自転車ルール・マナーの普及・啓発

事業 3-1-① 世代に応じた交通安全教室の開催

- 交通安全教室や各種イベントによるルール・マナーの普及・啓発
幼児から高齢者まで幅広い年代に対応した交通安全教室の実施や、各種イベントでの安全利用の広報ブース設置など、自転車通行ルールの周知徹底を図ります。
- サイクルスポーツセンターを活用した親子への自転車教室の開催
親子と一緒に体験・試乗し、安全な自転車の利用を楽しみながら覚える機会や、子どもを対象とし修了証や記念品を授与する講習会などの開催を検討します。また、幼児から自転車に慣れ親しむきっかけとなるイベントの実施も検討します。

事例

・宇都宮市における小学4年生を対象とした「子ども自転車免許事業」

宇都宮市では、行動範囲が広がり、一人で自転車を乗り始める全ての小学4年生を対象に、学科講習・学科試験、実技試験を経て自転車免許証を発行。交通安全の意識向上、自転車事故防止を図っている。

出典：宇都宮市 HP

・高校生による「交通安全マップ」

高崎女子高校の生徒が作成した「交通安全マップ」を使用し、通学における安全対策に取り組んでいる。



「安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会」

出典：国土交通省

概要

実施時期

短期

中期

長期

随時実施

事業 3-1-③	看板設置等による安全対策		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看板設置による注意喚起・安全対策の実施 市内における自転車事故発生箇所、自転車ルール違反(違法駐輪含む)多発箇所等における看板の設置による注意喚起等を実施します。 ■ 事故多発エリアの「見える化」の実施 事故多発エリアは情報発信プラットフォーム等により表示し、注意喚起を促す取り組みを検討します。 		
	<p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・ 自転車事故多発箇所への注意喚起看板の設置</p> <p>群馬県では、2023 年 4 月から、中高生の自転車事故防止のため「自転車事故多発箇所」に注意喚起のための看板を設置している。</p> <p>看板は、道路で目にする「追突注意」や「交差点注意」などと同じ標識の位置づけをしているものであり、その大きさも、ドライバーや自転車利用者から視認しやすい大きさになっている。</p> <p>設置箇所は、自転車事故の状況を詳細に分析し、年平均 1 件以上発生している「自転車事故多発箇所」県内 54 箇所となっている。</p> <div data-bbox="582 1025 1204 1377" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">▲案内看板のイメージ</p> <p style="text-align: right;">出典：群馬県 HP</p>		
実施時期	短期	中期	長期

施策 3-2 安全・安心な自転車利用の支援

事業 3-2-①	なとりサイクルサポーター(仮称)の創設		
概要	<p>■ なとりサイクルサポーター(仮称)の創設 市民が自転車に親しみ、安全に安心して自転車に乗れる環境を整えていくため、「なとりサイクルサポーター(仮称)」の創設を検討します。 登録したサポーターは、自転車のルール・マナーを守っていただくよう利用者に声掛けを行うなど、安全運転を促し、安全で適正な利用を促進します。</p> <p>■ 思いやりステッカーの作成 「なとりサイクルサポーター(仮称)」は、自動車に自転車を意識した運転を心がけてもらう運動の一環として、「思いやりステッカー」(自転車を追い越す際安全な間隔を取るよう促す表示)などを活用し、協力を呼びかけます。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・ 自転車見回りサポーター</p> <p>大和市自転車見回りサポーターは、自転車の安全利用を促進させることを目的に、サポーターの方々の日常の自転車運転を通して、安全意識の向上を図ることで、自転車の交通事故削減を目指し活動している。その他の、道路補修が必要な箇所等を発見したときは、市に連絡する役割も担っている。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">出典：大和市 HP</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">事例</p> <p style="text-align: center;">・ 思いやり 1.5m 運動</p> <p>愛媛県自転車安全利用研究協議会では、平成 27 年から自動車等の運転者に対し、自転車の側方を通過するときは 1.5メートル以上の安全な間隔を保つか、又は徐行していただくよう呼び掛ける「思いやり 1.5m 運動」を開始している。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">出典：愛媛県 HP</p> </div>		
	実施時期	短期	中期
	調査・研究		実施

事業 3-2-②

自転車用ヘルメット購入費補助による着用の推進

- 自転車用ヘルメット購入の補助
ヘルメットの購入に対する補助制度を設け、着用を推進します。
- 自転車用ヘルメット着用に関する情報提供、普及啓発の推進
学校や地域に向けたヘルメット着用の必要性の情報発信を行います。
またヘルメット着用の啓発と併せて、自転車損害賠償保険等への加入を促進する普及啓発を図ります。

事例

・兵庫県における「自転車ヘルメット購入応援事業」

令和5年4月1日施行の「改正道路交通法」により、自転車を利用する全ての方に、自転車利用時のヘルメットの着用が努力義務となったことや兵庫県のヘルメット着用率が全国平均から大きく下回っていたことから、自転車ヘルメットの購入応援事業を実施。ヘルメット1個につき4,000円を上限に給付し、(財)製品安全協会が認証するSGマークや(財)日本自転車競技連盟が安全基準に適合していると認証したJCFマークを対象としている。

概要



▲自転車ヘルメット促進キャンペーンのチラシ

出典：兵庫県 HP

	短期	中期	長期
実施時期	助成実施		
	啓発活動		

施策 3-3 避難手段、支援物資運搬等としての活用検討

事業 3-3-① 避難・支援物資等の運搬手段としての活用

- **自転車による避難手段の検討**
災害発生時に、自動車の渋滞を避け、徒歩よりも迅速に移動できる自転車の活用を検討します。
- **災害時の自転車活用の検討**
復旧・復興時における、支援物資の配布や巡回訪問・見守りなどの支援活動への活用を進めます。

事例

・浜松市における災害時における自転車活用の社会実験

浜名湖サイクルツーリズムで培ったノウハウや平時の人・モノ・場所・仕組みを有効活用して、災害発生後の自転車による地域への情報伝達、支援物資の運搬、地域を巡回する見守りなど、復旧・復興時の支援活動を対象とした社会実験を行っている。



災害時に活用できる自転車

出典；国土交通省「災害時における自転車活用社会実験」

概要

短期

中期

長期

実施時期

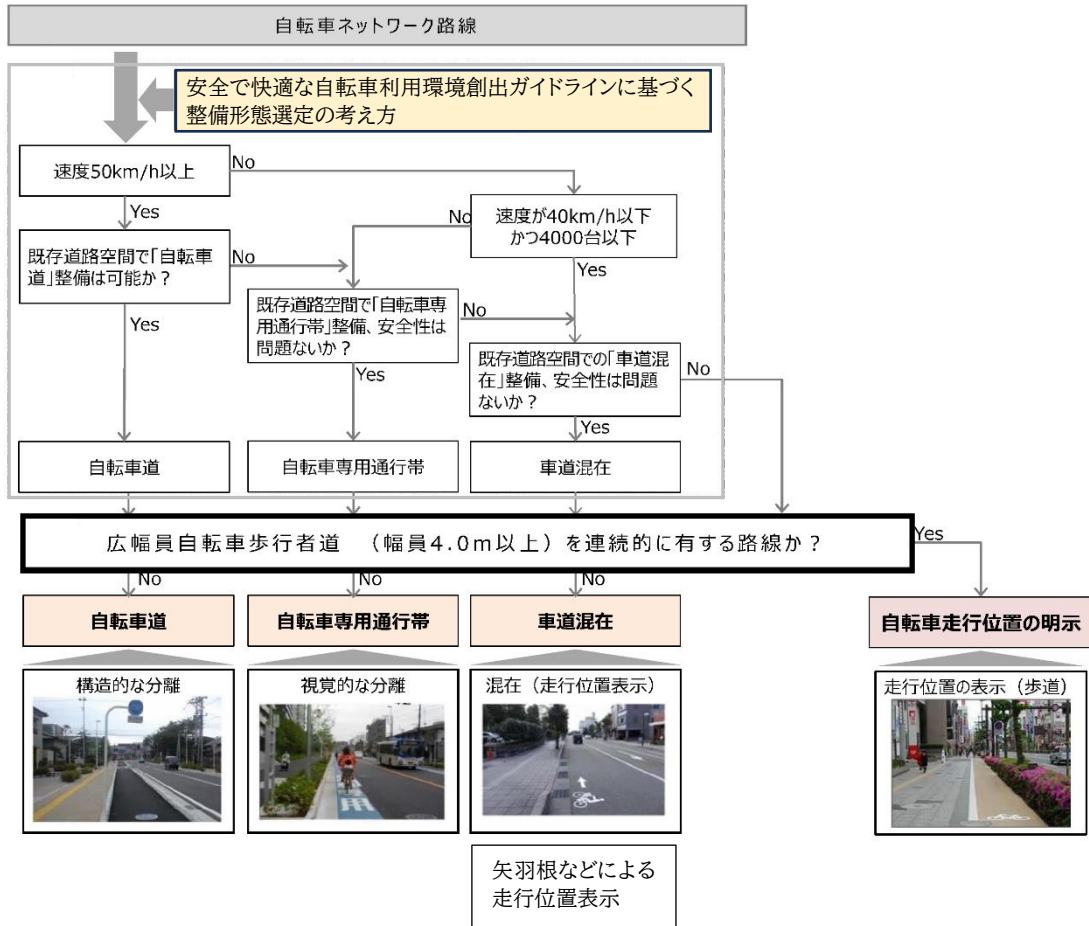
調査・研究

施策 4-1 安心して走行できる環境の確保

事業 4-1-①	自転車ネットワーク路線の整備推進		
概要	<p>■ 自転車ネットワーク路線の整備推進 ネットワーク路線の設定は以下の考えに基づきます。</p> <p>[自転車ネットワーク路線選定の考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> 前計画である「名取市自転車利用環境整備計画(平成29年3月)」に位置付けられている自転車ネットワーク路線を中心に「幹線ルート」と位置づけ。 「名取市サイクルツーリズム公式サイト なとりサイクリング」に掲載されているサイクリングコースとなっている路線を「観光ルート」と位置付け。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">○上記路線について、市民、就業者、観光客などの自転車利用者の安全性、快適性の向上を重点的に図る路線とし、自転車ネットワーク路線と位置付けます。</div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">○各路線における利用率の高さや地域、各施設を連絡する役割等から優先度を検討し、段階的に整備を進めます。</div> <p>[自転車ネットワーク路線の整備の基本的な進め方]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車計画ルートに位置付けた路線について、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成28年7月 国土交通省 道路局 警察庁交通局)」に基づき整備を進めます。 「自転車道」、「自転車専用通行帯」による整備を検討しますが、現道の幅員が十分でない等、整備費用が過大となる場合は円滑な整備を進めるため、「車道混在」とし、矢羽根型路面標示により走行位置を表示します。また注意看板などを設置し、より安全な通行環境を整備します。 自転車は車道左側通行原則ですが、車道における走行空間の確保が困難であり、補完的なルートとして、自転車歩行者道により整備する道路においては、歩行者と自転車の通行位置を視覚的に分離するなどの安全性を高める方策を検討します。 		
	実施時期	短期	中期
<div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; padding: 5px; display: inline-block; margin: 0 auto;"> ▶ 継続実施 </div>			

[整備の方向性の考え方]

- 抽出した自転車ネットワーク路線については、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成28年7月)」に基づく整備形態選定の考え方」を踏まえるとともに、既存の道路空間内での整備実現性等にも着目した考え方とします。



整備形態	【整備イメージ】
自転車道	
自転車専用通行帯	
自転車と自動車混在走行とする道路(車道混在)	<p>(1) 歩道のある道路における対策</p> <p>(2) 歩道のない道路における対策</p> <p>ピクトグラム等を設置</p> <p>【路肩・停車帯内の対策】</p> <p>【車線内の対策】</p> <p>※歩道側路肩に歩道幅員を確保し、歩道と車道との境界を明確にする必要がある</p> <p>【車道内の対策】</p>

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成28年7月)」に基づく整備形態選定の考え方

施策 4-2 安全・快適な自転車走行環境の維持管理

事業 4-2-①

自転車通行環境の適切な維持管理

■ 自転車通行環境の適切な維持管理

自転車道、自転車専用通行帯、矢羽根を表示した道路について、舗装等の状況を適宜把握し、サイクリストが安全・快適に走行できる環境の維持を図ります。

取組

・ LINE を活用した道路・公園通報システム

本市では、道路や公園遊具等の通報手段は電話や窓口への来庁、市ホームページからの通報とともに、LINE でも通報することができる。スマートフォン等携帯端末から画像や位置情報を送信することで、手軽に通報できるシステムとなっている。

名取市内の道路や公園の不具合は

LINE でお知らせください



QR コードをスマートフォン等のカメラで読み込んでLINEアプリ「名取市公式アカウント」を開き、追加ボタンを押します。
※ホーム画面の検索バーに「@natoricity」と入力しても検索できます。



名取市では、スマートフォン等のアプリ「LINE」を活用して、市道や公園遊具の破損などの情報提供をいただく通報システムの実証事業を行っています。（令和3年2月より当市の間）

【道路の不具合】

道路の穴や割溝のふたが割れている など



【公園の不具合】

公園の遊具が壊れている など



道路に関する通報

公園に関する通報

位置情報



位置情報も送れます

スマートフォンで簡単操作



LINEによる通報

LINEの通知を受け取ります。通報内容を確認し、通報内容を送信します。

電話による通報

電話で通報内容を確認し、通報内容を送信します。

お問い合わせ先
【道路に関する内容】
建設部土木課道路維持係 022-724-7128
【公園に関する内容】
建設部都市計画課公園係 022-724-7125

出典：名取市 HP

概要

短期

中期

長期

実施時期

継続実施

事業 4-2-②

地域と連携した維持管理

■ 地域と連携した維持管理

沿道住民、事業所などとの官民連携により、維持管理の向上を図ることを検討します。

事例

・道路沿線に立地する企業による環境整備の取組

秋田県では、社会貢献に意欲・関心を持つ企業等が行政と協力して、清掃や緑化作業などの美化活動、歩道等の除草といった維持管理活動を行い、良好な公共空間づくりを行っている。

概要



出典：秋田県 HP「秋田地域アダプト・プログラム」

	短期	中期	長期
実施時期	調査・研究		実施

施策 4-3 自転車ネットワークの拡充

事業 4-3-①

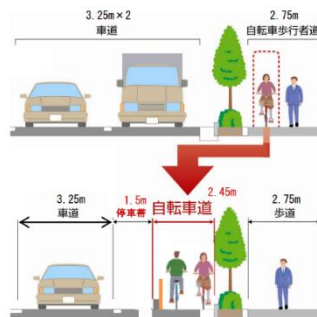
自転車ネットワークの適正化

■ 自転車ネットワークの適正化

まちづくりなどにより新設される道路、また道路拡幅などの事業合わせ自転車道や自転車専用通行帯の整備、その他走行環境の改善を検討し、自転車ネットワーク路線の見直しや追加など適正化を図ります。

事例

・自転車の走行環境整備の取組



▲車線数減による空間確保

【栃木県宇都宮市】

【千葉県船橋市】



▲停止線の前出しによる左折巻き込み事故防止の事例

出典：国土交通省

「安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会」

概要

実施時期

短期

中期

長期

調査・検討

実施

施策 4-4 利便性の高い公共交通の構築に向けた自転車環境整備

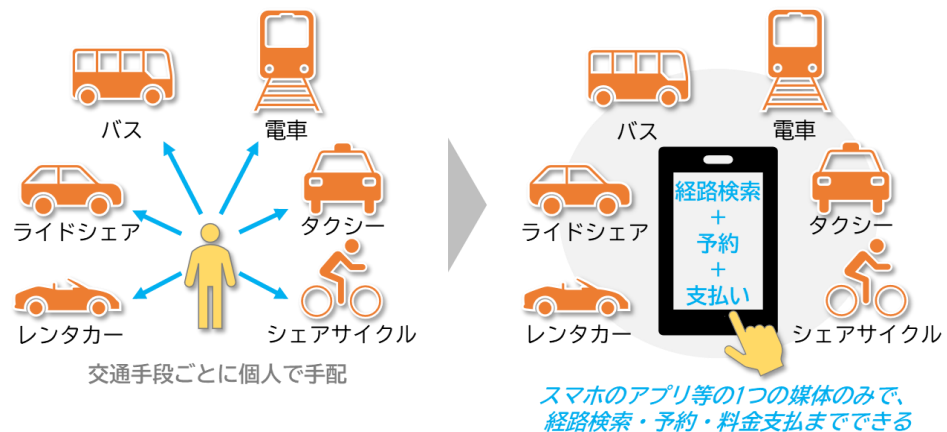
事業 4-4-①

シェアサイクル導入に向けた検討

- **シェアサイクル導入**
鉄道駅周辺など、公共交通機関に近接したエリアや商業施設へシェアサイクル導入に向けた検討を行います。
- **公共交通との情報連携**
導入に際しては、IoT 技術を活用し、MaaSによるや料金支払いの一体化についても検討します。

参考

MaaS とは、利用する交通手段ごとに、個別に予約や決済等を行ってきたサービススタイルから、アプリ等の共通する媒体を介して経路検索や予約、決済等を一括して行うサービススタイル



事例

・自転車を含む MaaS の取組

JR 東日本では、鉄道や新幹線以外にも、タクシーやシェアサイクル、バスなどの複数の交通手段の利用が一つのアプリで完結する MaaS アプリ「Ringo Pass」を展開。2023 年 12 月現在、東京 23 区、武蔵野市、三鷹市、横浜市等の首都圏を中心に展開をしている。

出典：JR 東日本 HP

概要

	短期	中期	長期
実施時期	調査・検討		実証・実施